

「脳の健康診断」受けてみませんか？ ～MRI×AIで将来の認知症・脳卒中リスクを把握～

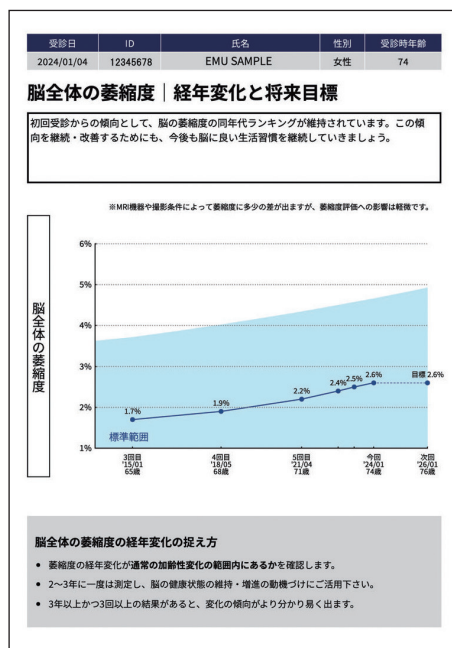
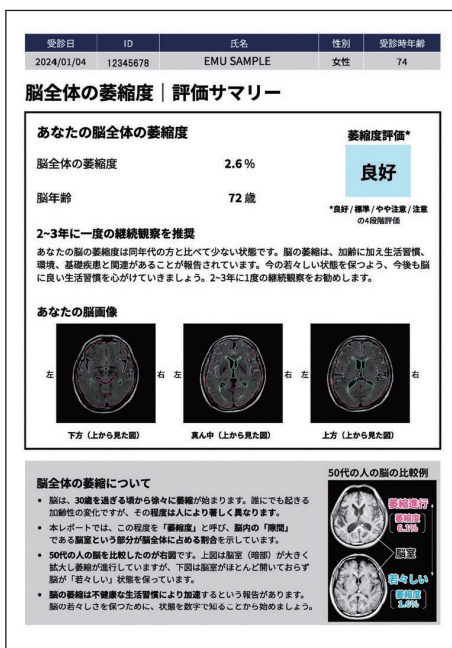
聖隷健康診断センター 放射線課 係長 松本 卓弥

聖隷健康診断センターと聖隷健康サポートセンター Shizuokaでは「脳健康度AI解析」オプション検査の提供を開始いたしました。撮影された頭部MRI画像を、脳画像分析AI技術

MVision health※を用いて解析し、ご自身の脳年齢・脳萎縮度・白質病変体積(脳血管の健康度の目安)の3つを数値化した詳細なレポートを提供しています。

近年、関心の高い認知症・脳卒中のリスクは、飲酒や喫煙等の生活習慣が大きく関与します。また、40歳以上および認知症・脳卒中の家族歴のある方は、数年に一度の頭部MRI検査が日本脳ドック学会より推奨されています。ぜひ一度、頭部MRI検査と併せて「脳健康度AI解析」を選択し、生活習慣改善の動機付けとしてご活用されてはいかがでしょうか。

※MVision healthは株式会社エムが提供するサービスです



第14回いきいき健康フェスタにブースを出展しました

保健事業部 運営管理センター 営業契約課 佐野 涼子



6月7日(日)、浜松市ギャラリモール「ソラモ」にて開催された、浜松商工会議所主催の「いきいき健康フェスタ」に出展しました。聖隷予防検診センターでは、地域住民の皆さまの健康づくりを目的に、握力測定やロコモ立ち上がりチャレンジを実施。また、聖隷健康診断センターでは、乳房模型を使用したブレストアウェアネス(乳房の健康チェック)体験や、看護師による女性の健康相談を行いました。

さらに、婦人科検診車の展示とともに、車両の前で体成分分析装置「InBody」を用いた測定も行いました。当日は多くの方



にご来場いただき、各種体験や相談を通じて健康について考えていただく機会となりました。

なお、10月3日(土)・4日(日)にはイオンモール浜松市野1階のシンフォニーコートで「ウエルネスアップ!健幸フェスティバル2026」への参加を予定しています。地域の皆さまの健康づくりを応援するさまざまな企画を準備しておりますので、ぜひご来場ください。



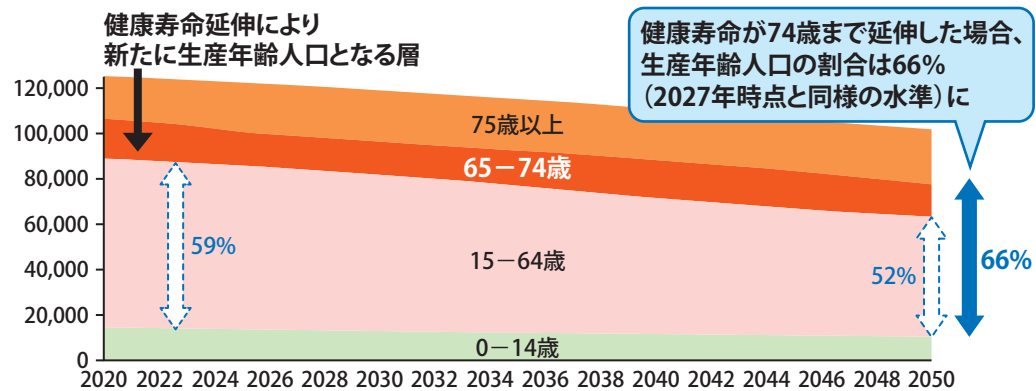
「人材」から「人財」へ 健康経営®を実践していますか？

地域・企業健診センター 健診看護課 橋本 拓弥

健康寿命の延伸による生産年齢人口の変化

わが国では少子高齢化が課題とされています。一方、平均寿命と健康寿命が延伸しており、生産年齢人口の増加が見込まれます。健康寿命が74歳まで延伸した場合、2050年には生産年齢人口の割合は2007年時点と同程度になるといわれています。従業員の心と体の健康は「事業所含め社会全体にとっての財産」となります。

健康寿命の延伸による生産年齢人口の変化



参考:経済産業省「これからの健康経営について」資料p3より
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年・中位推計)」

健康経営における事業所の損失とは

世界保健機関(WHO)によって提唱された労働生産性の損失を表す指標には以下の2つがあります。

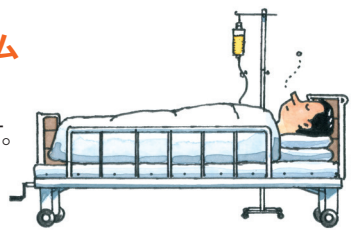
● プレゼンティーイズム

働いてはいるが、病気などにより生産性が低下している状態です。



● アブセンティーイズム

病気などによる休業で生産性がゼロの状態です。



何が事業所の損失になっているかを計算した調査において、「医療費など+アブセンティーイズムによる損失」よりも「プレゼンティーイズムによる損失」の方が大きく、約8割を占めています。

健康経営の実践例

- ▶社員食堂でのヘルシーメニューの提供
- ▶社内運動会など運動促進の取り組み
- ▶敷地内全面禁煙
- ▶健康教育による病気予防
- ▶仕事と治療・通院の両立支援 など



労働力を生み出す「人」という無形財産に、事業所として投資することが重要な考え方になっていきます。ストレスチェックや健康診断後のフォローをすることで心身の健康が保たれ、事業所の発展に繋がります。

聖隷保健事業部では労働衛生教育として研修や動画・リーフレット等の提供を通じて、事業所の皆さまのサポートを行っています。また、健康経営への支援も行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

産業保健に関する
お問合せ

営業契約課

Email hoken-eigyou@sis.seirei.or.jp

☎ 053-477-0587 ▶受付時間(祝日除く)…月～金曜日 9:00～16:00

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。